

西南学院大学 図書館報

大学生としての読書のあり方……………門田見昌明	2
図書館の上手な利用法……………久野誠一・高井佳代子	3
新入生の皆さんへ……………今永義純	4
勉学の目的・意欲ある利用を……………関覧係	5
国連寄託図書館の紹介……………国連係	5
映画の中に見る図書館……………渡邊浩之	6
気楽に読める専門書〈7〉	
フランス版むらおこし……………石田信彦	7
お知らせ・報告・編集後記……………	8



社会認識への出発 —新入生を迎えて—

図書館長 川 島 信 義

(1)

20世紀初頭、第1次世界大戦前夜、マックス・ウェーバーは、頹廃の様相をさえ呈していたヨーロッパ社会の危機的現実直面して、その著『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』を世に問うた。それはマルクスの唯物史観に抗して、宗教社会学的接近をはかり、ヨーロッパ資本主義の形成に果たしたキリスト教倫理の役割を鋭く歴史的に追求するものであった。

「プロテスタントの世俗内的禁欲は、奔放な所有の悦楽に対して力の限り反対し、消費ことに浪費を禁圧した。他方その禁欲は、心理的效果として、財の獲得を伝統主義的倫理の抑圧から解放し、利潤追求を、合法化したばかりでなく、神の意志に直接そうものとみなすことによって、その桎梏から解放したのである」。

中世のカトリシズムは、商業活動・利潤の追求を下劣な不道德なもの、「神に嘉せらるるは難し」として否定した。宗教改革を通して成立したプロテスタンティズムの倫理は、逆に世俗的なその営利・職業活動を禁欲の最良の手段として、神の召命＝「天職」として是認する。それは市民的、経済的、合理的な生活態度、要するに、「資本主義の精神」の伸張のための強力な槓杆となった。ウェーバーは近代ヨーロッパ資本主義の形成をこの角度から追求し、問題の所在の究明へ立ち向かった。それは私の学生時代に社会認識とその方法の重大性についての自覚を、よび醒した一つの最も重要な書物であった。

(2)

新入生の諸君、入学おめでとう。新しい大学生としての生活が始まる。文学、人文あるいは社会のいずれの学科を専攻するにせよ、それらがいずれも、人と社会についての学問であることはいうまでもない。その学問を通して、新しいあるべき人間観や社会観を学びとること、これがここでの一つの最重要の課題となる。その理解のいかんが、現在の、そして将来の、諸君一人一人の生き方や働きを左右する一つの決定的に重要な要因ともなるであろう。学生生活における最大の課題の一つもここに存するといつてよい。大学図書館はそのために、数十万冊の書物を擁して諸君の利用を心から待っている。

(3)

「勝利に輝く資本主義は、機械の基礎の上に立って以来、もはや禁欲からの支援をうけることを必要としない」。禁欲による営利・職業活動は膨大な富を生み、富は世俗をつくり変える。職業活動＝勤労における宗教的、倫理的意味は失われていった。資本主義は独走する。「精神のない専門家、愛情のない享楽人、これら無価値なものは、人類のかつて到達しえなかった段階を極めたと妄想するであろう」。

ウェーバーは今日の「飽食の時代」をも先取りするような、資本主義の問題点を鋭く摘出し、そこに生きるわれわれ人間の問題を、きびしく提起したのであった。

(かわしま のぶよし：経済学部教授)

新入生ガイダンス特集

大学生としての読書のあり方

文学部教授 門田 見 昌 明

「真理は万人によって求められることを自ら欲し、芸術は万人によって愛されることを自ら望む。かつては民を愚昧ならしめるために学芸が最も狭き堂宇に閉鎖されたことがあった。今や知識と美とを特権階級の独占より奪い返すことはつねに進取的なる民衆の切実なる要求である。」

1927（昭和2）年、岩波茂雄が文庫発刊に際して書いた「読書子に寄す」の冒頭の一節である。岩波文庫の奥付の裏に書かれているので読んだことのある人も多いと思う。本を売するために書いた宣伝文句に過ぎない、といってしまうとそれまでのことかもしれない。しかしここには、それだけではなく出版社の出版にける気骨、気概を読みとることができる。

最近の出版物の量はたしかに膨大であり、それぞれの書物は色とりどりに、きらびやかに「外装」を凝らして買い手を求めている。最近ある学生向けの専門書を書いた友人から面白い話を聞いた。「帯紙」に何を書くかということで出版社から相談があり、友人は内容を簡潔に紹介するためのいくつかの案を示した。出版社の人がなかなかOKを出さないで、意見を求めたところ「先生は読んでもらうことに焦点を置いておられるのですが、我々としては売れるかどうか問題なのです」ということであった。「売れることが先決で、読むかどうかは要するにどうでもいいということらしい」という、やや自虐的な友人の言葉が、非常に印象的であったのを思い出す。

出版社が、どれだけ売れるかということに神経を使うのはもっともなことであろう。見かけも美しく、購買意欲をそそるような外観とキャッチフレーズが全く必要だとは思わない。

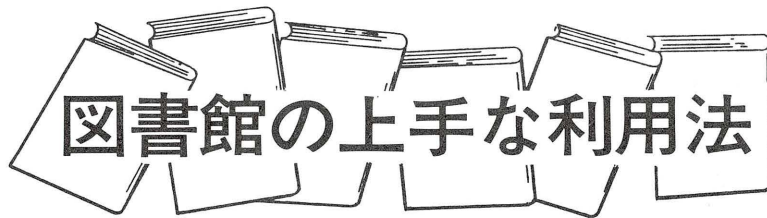
しかし、「外観を顧みざるも内容に至っては厳選最も力を尽くし……一時の投機的なるものと異なり、永遠の事業として吾人は微力を傾倒し、あらゆる犠牲を忍んで……」という、岩波「読書子に寄す」の、あの「気概」をあらためて思い起こすこの頃である。

真理や真実、総じて「よきもの」「よき書物」は、万人によって求められることを自ら欲しており、「進取的なる大学生の切実なる要求」を待っているといつてよいであろう。そんな気持ちで、あれこれの文庫や新書の「発刊の辞」のたぐいを読んでみるのも面白い。

ともあれ読書は、孤独のなかの著者との対話であり、場合によってはそこに書かれていることとの真剣な対決でもあろう。寝ころんでいたのではよく理解できなくて、あるいはそんな格好では申し訳なく思い始めて、座り直して読み直すことも時にはあると誰かが書いていたが、そんな書物との出会い、そんな読み方を体験することの意味は大きいと思う。「すべてを批判するところから学問が始まる」「まずは疑ってみよ」「簡単に物事を割り切るな」「自己を客観的に観よ」「少年老い易し」など、いろいろな言葉が我々に更なる知的探究と絶えざる自己脱皮を求めている。

(かどたみ まさあき：教育学)

新入生ガイダンス特集



図書館の上手な利用法

商学部経営学科4年

久野 誠 一

もしある事を理解しようとすれば、どうしてもその事についていろいろ情報を集めなければなりません。それをしなければ、不十分かつ不正確な理解しかできないのは言うまでもないでしょう。しかしながら、今日のように情報が氾濫している中では、いかに上手に自分の欲しているものをとるかということが問題となります。それには図書館の利用を推薦します。勿論、情報量の多さでは他に引けをとりません。本の種類も豊富でベストセラーから専門書まで幅広くたいの私達のニーズに对应してくれます。また目録を使えば瞬時に求めている本を見つけることができます。いわば、図書館は一番身近な情報源だといえるでしょう。

では参考までに私の図書館の利用法を紹介します。といっても特別なことをしている訳ではなく、今新聞等を賑わしている事に関する本を読むことです。他の事はともかく、この事についてはわかるという部分があると、嬉しくなって次はこれ、その次は…という風になって知らず知らずのうちに本を読んでいたというものです。私のようにもともと本が好きではない者でも、ちょっとした目標があるとそれに向かっていくので、みなさんも何でもいいから目標を立ててみてはいかがでしょうか？

(ひさの せいいち)

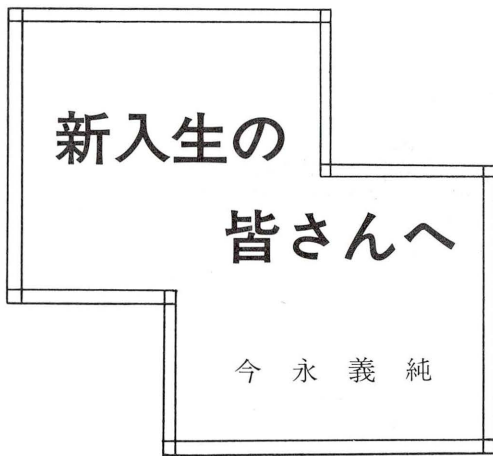
法学部法律学科4年

高井 佳代子

図書館をいかに上手に利用するか、こんなことを考えて利用した覚えがないのだが…。

私の利用はほとんど暇をつぶすためであったと言ってよい。時間をもてあますとフラッとやってきて、手にした本を熟読し、あるいはななめ読みし、飽きるとさっさと退館する。この気ままさのゆえ、私は目録をひいて本を探したことはないが、何度となく図書館に立ち寄るうちにどこに何があるのかおよその見当はつくようになるものである。図書館というところは妙に堅苦しいイメージがあり、静けさの充満した閲覧室の雰囲気について足が遠のいてしまう人もいることだろう。私自身も、専門書を開き一心に学問に打ち込んでいる人を見ると、これが学生のあるべき姿なのかと感心したり、同じ閲覧室に居ながら行儀よく勉強するのが苦手な自分を反省してみたりする。私のような利用の仕方を新入生のみなさんに勧めてよいのかわからないが、図書館を訪れることは単に書物に携わるだけでなく、いろんな意味のあることが今私にもわかったようである。本学の図書館は蔵書はもとより、国連寄託図書館、レコード聴取装置(室)なども備え、なかなか多機能である。利用したことのないこれらの設備にも、卒業までに一度は足を運んでみようかと思っている。

(たかい かよこ)



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学後1月余りたって、大学生活にもだいぶ慣れてきた頃かと思います。

ところで、大学では、高校までの学校生活と異なって、自分で判断して、責任ある行動をとることになります。積極的に学生生活をエンジョイする工夫が大切です。専門の勉強だけでなく、クラブ活動、広く一般社会人としての教養を身につける必要があります。どうかこれから4年間の学生生活を、悔いのない充実したものにするよう希望します。

さて、図書館には、これら専門の知識、一般教養を身につけるのに参考になる各種の専門書、教養書が備わっています。現在、本学図書館には、約50万冊の図書があり、うち皆さんが自由に接して見られる図書（開架図書）が約15万冊あります。残りの約35万冊は、直接見て、手に触れることはできない書庫に保管してありますが、3階のホールに設置してある目録カードで調べて、請求することにより利用できます。

本館の特色の一つは、全国の昼間学部のみを有する大学においてほとんど例をみない、年間

を通じて夜9時まで開館していることです。休日の増加、一般社会人の知的好奇心のたかまりなどに伴って、最近学外者に対する図書館の開放が強まっています。本館は、夜9時までの夜間開館を、いち早く昭和52年より実施し、卒業生は在学時と同じ条件で利用できますので、卒業後も職業に応じた専門の知識の取得、また読書にと、仕事が終わってから図書館をおおいに利用しています。

よく大学図書館は、大学における心臓と言われますが、特に人文・社会科学系の大学における図書館の役割は、装置、設備等を必要とする自然科学系の大学に比して大きいと言われています。大学は、教育・研究機関であり、これらの活動が十分なされるには、その情報を提供する図書館の活動がおおきく影響します。情報の多量化、多様化が進む中で、限られた情報だけで、教育・研究活動が十分果せなくなっています。図書館が盲腸のように、あってもなくてもいいような存在にならないためにも、時代・社会の変化に敏感に対応して行かなければなりません。施設・設備面の拡充、図書館職員の質的、量的面での増強、業務の電算化など新しい時代の要請に応えるべく努力してゆく必要があります。

若者の活字離れが進んでいると言われていますが、皆さんが将来社会人となって、仕事と同時に、余暇の活用るとき、知的好奇心を満たしてくれる一人で楽しめるものの一つに、読書はいることを期待します。

気楽に図書館に足を運んでいただき、書架の間をブラブラ散策することをおすすめします。

（いまなが よしずみ：情報サービス課長）

勉学の目的

—意欲ある利用を—

関 覧 係



新入生のみなさんは、中学・高校時代、あるいは浪人時代、ひたすらに勉学し、知識の蓄積に務めてこられたことと思います。そして今、大学に入学してほっとしてあるのではないのでしょうか。そしてともすると、気のゆるみから大学を卒業できない人もでてくるのです。それは勉学の目的を、とかく人生のエリートコースに乗りたいたいということだけしか頭にない為、大学に合格した途端、もうここまで登りつめた、とほっとするからではないのでしょうか。エリートコースに乗り、よりリッチな人生を送る。確かにそれも勉学の目的かも知れません。しかし、人間の勉学の目的はそんな低次元の目的であってはならないのです。よく、人の才能はそれぞれの職分に応じ無限であるといわれます。つまり、勉学の目的は那人それぞれに存在する才能をみがくため、あらゆる角度から知識を吸収することでありま。みなさんがその優れた才能をみがくために、図書館でも豊富な知識を得、将来その能力をとおして社会に貢献し、終生誇りうる人生を目指してほしいのです。

さて、本学図書館は約50万冊の蔵書を有し、あらゆる分野の図書を揃えています。そのほか教養雑誌・専門雑誌・週刊誌など、皆さんを退屈させることはありません。

そこで、入館の手続きは、

- ① コート、バッグなどは1階のコインロッカー（硬貨はあとで戻る）か2階のロッカー（硬貨のない場合）に入れる。
- ② 学生証を2階受付に提出し、入館票をもらって入館する。

入館時の心得は、

- ① 静かに他の利用者の迷惑にならぬように心を配る。
- ② 友達との相談などは閲覧室より出てロビーですること。

図書の貸出は、

- ① 学部学生＝3冊11日間
- ② 院生＝20冊2ヶ月間となっており、春、夏、冬の休暇中は貸出期間を延長し、貸出冊数も増加される。

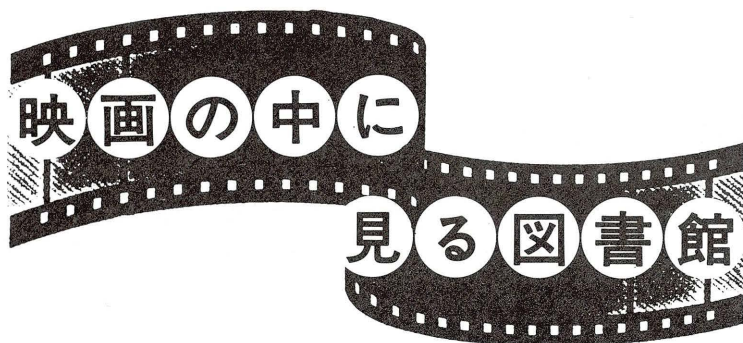
どうか気軽な気持ちでご利用下さい。

国連寄託図書館の紹介

国連係

本学の図書館1階には国連寄託図書館のほか、EC資料センター、OEC D協力資料館の二つがあり、国際機関の生の資料を収集しています。大学生を含め、広く一般の成人が利用できます。詳細については国連寄託図書館事務室にお尋ね下さい。

開館時間 月～金曜日 9:00～16:00
土曜日 9:00～12:00
第1水曜日



渡 邊 浩 之

皆さんは、映画の中で図書館を意識したことはありますか？ 私は映画が好きなので、よく見に行くのですが、職業柄、図書館が出てくるとすぐに目についてしまいます。そこで、私の見た映画の中で、図書館に関係している場面について書いてみようと思います。

まずは、「ゴースト・バスターズ」¹です。この映画は、SFX（特殊効果＝平たく言えば、特撮のこと）コメディとして、大ヒットしました。ニューヨークが舞台なのですが、ここの公共図書館で、突然カード・ケースが開き、目録カードが、次々に飛び出す場面があります。とても面白い場面だったのですが、カードを並べて入れる苦勞を知っているだけに、書名カードだと並べるのに時間がかかるだろうなとか思ってしまいました。こんなことを考えていたのは、満員の館内で、私だけだったでしょうね。

次の映画は、「ファール・プレイ」²です。これをご存知の方は、相当の通だと言えます。内容は、ヒッチコック風コメディとでも言うべき作品です。主人公のグロリアは、サンフランシスコの公共図書館に勤めているのですが、殺人事件にまき込まれてしまいます。彼女は図書館員なので、当然、図書館の場面もあるのですが、それ以上に興味深い場面がありました。それは助けを求めている彼女に気付かず、ゲームに夢中になっている老婦人2人が、会話中に、「図書館で調べよう」って言うところですよ。

さんが言ったんですよ、「図書館で調べよう」って。とても日本では考えられません。さすがにアメリカでは図書館が、日常生活に根付いているんだなあーと感心しました。

最後に、最近の話題作として「危険な情事」³を挙げておきましょう。この映画は、平和な家庭を築いてきた男が、たった一度の浮気をしたばかりに、恐しい目に会うというスリラーで、ホラー映画などよりよっぽど恐い内容でした。さて、主人公が友人の弁護士に、浮気の相手のことを相談する場面があるのですが、ここが、書架の間なんですよ。考えて見れば、秘密の話をするのにはピッタリですね。もっとも私は、利用したことないですけど。

このように映画の中にも、気を付けていれば図書館がでてきます。映画を見る時、こういう見方をしても楽しいですよ。皆さんも、映画を楽しんで下さい。それから図書館も、もっと利用して下さい。

1. 1984年アメリカ 監督 アイバン・ライトマン
主演 ビル・マーレイ
2. 1978年アメリカ 監督 コリン・ヒギンズ
主演 ゴールディ・ホーン
3. 1987年アメリカ 監督 エイドリアン・ライン
主演 マイケル・ダグラス

(わたなべ ひろゆき：整理課洋書係)

気楽に読める専門書〈7〉

フランス版むらおこし

文学部外国語学科主任 石田 信彦
フランス語専攻課程主任

このところ高名な政治家をはじめフランス各界からの九州訪問があいついで伝えられた。これまでの視察が主にハイテク産業に限られていたのに対し、今回は一村一品運動や日本一づくり運動、それに地方紙の役割などへと関心が向けられた。視察団のこういう関心と、ここに紹介する『虐げられた言語の復権』（アンリ・ジオルダン編、原聖訳、批評社）とは、なんら関係なさそうだが、読後奇妙に根は一つという思いがした。それは本書を、言葉によるむらおこしも要約できるからである。

まとまりのよさでは例外的な島国に暮らしていると理解しにくいことだが、フランスには今なおかなりの数の少数言語が残っている。フランスは15世紀に君主国として統一されて以来、一貫した言語政策によって中央集権化を推進し、その過程で、厳格な文法規範にあてはまらない少数言語は方言として切り捨て、これらの言語は、やがて消滅していくものと考えられていた。ところが、1981年の大統領選挙でミッテランは「少数言語・文化は尊重され教えられることになろう」と公約し、翌年6月には「公教育における地域文化・言語の教育」に関する文部大臣通達が出た。

本書の内容はこの通達を契機に、ブルトン、アルザス、フランク、フラマン、バスク、オクシタン、カタラン、コルシカ、ガロ、ピカール語などの教育がいかに始められいかに変わりつ

つあるか、その地域別の活動報告をまとめたものである。学者の描く言語地図ではなく、少数言語教育に携わる人たちの生の声が聴け、地方の政治・経済・教育・文化の面からも興味深く読める。一例をあげると、ほとんどの少数言語の運動家が、自分たちの言葉を外国語として扱うことには抵抗を感じながらも、学校でのバイリンガリズム（フランス語と少数言語）をめざし、第2現代外国語、第3現代外国語として導入している。担当教員についても全国一律の公務員の地位への配慮から、少数言語と他教科を組み合わせた複数教科担当教員の採用が考えられている。これは政府との妥協とも見えるが、根底には地域の活性化への双方の願いが感じ取れる。上記の少数言語は近代化に取り残された地域に多く、またそのほとんどの言語が国境を越えて使用されており、しかも国境の向こうには経済活動の盛んな都市が控えている。「中央集権があまりに強力なあいだは、バイリンガリズムはハンディキャップにすぎないものであったが、国境を広く開放して交流をすすめるという時代の要請を前にすると、これは文化の面でも経済の面でも相当な力を発揮する」という次第である。国境の開放とは1992年末の欧州統合のことだと思うが、これがもし実現すればEC12ヵ国の人、物、金の流れは完全に自由化される筈である。

(いしだ のぶひこ：文学部教授・フランス文学)

お知らせ

昭和63年度 図書館行事予定表

- 4月6日(水) 新入学生利用指導(商・経)
 7日(木) " " (神・文・法)
 5月11日(水) 学院創立記念日のため休館
 7月1日(金) 夏季長期貸出開始(9月19日まで)
 11日(月)～9月5日(月) 夏季休暇
 休暇中学習室閉室
 9月9日(金)～9月28日(水) 前期試験
 29日(木)、30日(金) 大学休業のため休館
 11月中旬 大学祭期間中学習室閉室
 12月16日(金) 冬季長期貸出開始(1月18日まで)
 26日(月)～1月7日(土) 冬季休暇
 休暇中学習室閉室
 26日(月) 開館 9:00～21:00
 27日(火) " 9:00～12:00
 28日(水)～1月5日(木) 年末年始の休館
 64年
 1月6日(金)より開館
 20日(金)～2月3日(金) 後期試験
 24日(火) 春季長期貸出開始
 (卒業予定者は2月末日まで)
 (上記以外者は4月22日まで)
 2月4日(土)～春季休暇
 休暇中学習室閉室
 中旬 入学試験のため休館
 3月上旬 在庫調査のため開架閲覧室閉室

休館・閉館その他行事予定については、
 そのつど、図書館の玄関に掲示します。



☆ 報 告 ☆

〈在庫調査の実施〉

去る3月7日～11日にかけて、例年のとおり年1回の蔵書点検を行った。1点1点現物との照合調査を行い、併せて、目録、原簿等の整備をはかった。

この間利用者の皆さんにはご迷惑をおかけしました。

〈オリエンテーションの実施〉

新入生を対象とする図書館利用のオリエンテーションを、4月6、7日の両日ランキン・チャペルにおいて、スライドを通して行った。また、これに先だち4月1日には、新任の先生方に対するオリエンテーションを行った。

〈人事異動〉

昭和63年3月31日付

刀根 淳 定年退職

昭和63年4月1日付

堤 義男 (学生部事務次長から)

図書館事務次長へ

杉野哲谷 (情報サービス課から) 教務課へ

古庄敬文 (文書課から) 情報サービス課へ

佐藤靖子 情報サービス課へ (任用)

※ 編 集 後 記 ※

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはまだ入学後1ヶ月足らずですが、大学での授業や課外活動にも少しは慣れたことと幸いです。

今号は、主に新入生の皆さんを対象として編集しました。図書館利用の一助となれば幸いです。これからの大学生活の中での自由な時間を勉学や読書の場として図書館を大いに利用していただきたいと思います。

知ることは喜びであり、また楽しみでもあります。どうぞ積極的な利用を期待します。

(F・T)